

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年3月9日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

電気電子工学のための基礎数学(第2版)

正誤対象

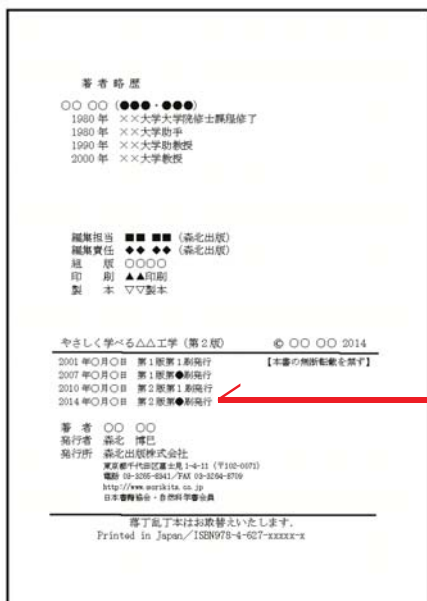
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 5 までをご参照ください
2-4	対応刷数 4 より 5 までをご参照ください
5	対応刷数 5 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
1	4	例 1.8 3 行目下	右の文章を追加	(注)分母の方程式の最高次数の係数が 1 となることが前提なので注意すること.
1	8	下から 11 行目	2 進数で $a_n a_{n-1} \cdots a_1 a_0 a_{-1} \cdots a_{-m}$	2 進数で $a_n a_{n-1} \cdots a_1 a_0 \cdot a_{-1} \cdots a_{-m}$
2~5	8	下から 11 行目	2 進数で $a_n a_{n-1} \cdots a_1 a_0 \cdot a_{-1} \cdots a_{-m}$	2 進数で $a_n a_{n-1} \cdots a_1 a_0 \cdot a_{-1} \cdots a_{-m}$ (「 \cdot 」ではなく「 \cdot 」)
1	16	13 行目下	右の文章を追加	(注)指数関数表示で,大きさが 1 のときは省略する場合がある.
1	17	演習問題 [3] 3.1(3)	$1e^{j\pi}$	$e^{j\pi}$
1	18	下から 3 行目上	右の文章を追加	(注)(3)と(4)については,複素数の平方根なので,解が 2 つ存在する.
1	24	4.4 2 行目	$\alpha > \beta$ とする.	実数解のときは $\alpha > \beta$ とし,虚数解のときは α の虚数部 $>$ β の虚数部とする.
4	51	式(8.2) 4 行目	$\tan(\pi + \theta) = -\tan \theta$	$\tan(\pi + \theta) = \tan \theta$
1	102	下から 3 行目上	右の文章を追加	(注) $x \rightarrow a_{+0}, x \rightarrow a_{-0}$ で, $a=0$ のときは, $x \rightarrow +0, x \rightarrow -0$ と表現する.
1	106	演習問題 [15] 15.1(19)	$\lim_{x \rightarrow 1^-} \frac{ x-1 }{x-1}$	$\lim_{x \rightarrow 1_0^-} \frac{ x-1 }{x-1}$
1	106	演習問題 [15] 15.1(20)	$\lim_{x \rightarrow 1^+} \frac{ x-1 }{x-1}$	$\lim_{x \rightarrow 1_0^+} \frac{ x-1 }{x-1}$
1	171	3.10(3)	$\frac{\sqrt{6}}{2} + j\frac{\sqrt{2}}{2}$	$\frac{\sqrt{6}}{2} + j\frac{\sqrt{2}}{2}, -\frac{\sqrt{6}}{2} - j\frac{\sqrt{2}}{2}$
1	171	3.10(4)	$\frac{\sqrt{6}}{2} - j\frac{\sqrt{2}}{2}$	$\frac{\sqrt{6}}{2} - j\frac{\sqrt{2}}{2}, -\frac{\sqrt{6}}{2} + j\frac{\sqrt{2}}{2}$